

英語を楽しく

☆ Let's ~

Let's go! でなじみある Let's 使い方は至って簡単。しかも、よく使う。
Let は通例「…するのを阻止しない。自由に…させておく。」の意。
訳としては「一を…させる。」・「Aに…させよ」(第1人称・第3人称の命令形)

第1人称 Let me do it. (わたしにそれをやらせて。) ← _____
(You) let me do it. 「(あなたが)、それを私にさせなさい。」

第3人称 Let John drive for while. (ジョンにしばらく運転をかわってもらいなさい。)
(You) let John drive for while.
「(あなたは) ジョンにしばらく運転をかわってもらいなさい。」

命令文は常に第2人称 (you) に第1人称 (I) がするもの → 「させる」(文意により

☆ let's と shall のちがいについて

① let's は話者の意向を第2人称 (you) に伝えるために使う。
Let me go. (放してよ。) <強盗に捕まったときに使うことも>
Let Tom help with the work. (トムにその仕事を手伝ってもらいなさい。)



② shall は話しかけられる相手 (you) の意向をたずねるために使う。

Shall I open the window? (窓をあけましょうか。)

Shall we take your son to the Hakucho primary school?

(子供さんを白鳥小学校に連れて行ってあげましょうか。)

Shall he call on you tomorrow? を言い換えると (I)

|| (明日彼にあなたを訪問させましょうか。)

訪問させるのは主語の I

(I) I will let him call on you tomorrow? を言い換えると (II)

(II) (I will let that he calls on you tomorrow.)

私が that 以下をさせるということですね。やはり、let は話者の意向

shall he call on
you tomorrow?

make も「させる」という意味がありますがこの make

には強制しての意がありますので例えば次のように使います。

My boss made me work around the clock. (ボスは一日中、私を働かせた。)

一日中

のように使います。

I made my son study English.

こんなことはいけませんね。どうせなら英語を好きになるようにしてあげてほしい。

今ごろみんな
気になるなあ。



No, no. He doesn't
need to come.
I'm going to come.

